



平成 29 年度

小平市民活動支援センターあすぴあ

管理運営事業報告



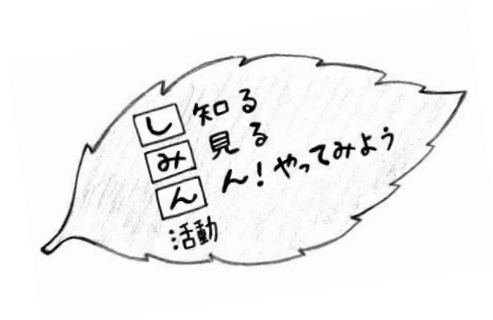
平成 30 年 5 月

小平市民活動支援センターあすぴあ指定管理者
特定非営利活動法人 小平市民活動ネットワーク





NRONRONRONRONRONRONRONRONRONRONRO
しる みる ん! やってみよう しみんかっどう
NRONRONRONRONRONRONRONRONRONRONRO



平成29年度 小平市民活動支援センターあすぴあ 事業報告



■平成 29 年度事業全体報告

平成 29 年度は、NPO 法人小平市民活動ネットワークがあすぴあの指定管理者となって 8 年目の年でした（指定管理者第二期最終年）。登録団体数は 117 団体となり、年間の利用者数は 3 月末で 1 万人弱でした。また、電話や窓口での相談件数は、月平均 5～6 件ほどありました。あすぴあ最大のイベント、NPO フェスタは例年 10 月に実施していましたが、会場が選挙の投票所となったため、12 月に延期して実施しました。

助成団体からの情報もさらに増え、部数が多いチラシは、例年とおおり、あすぴあ登録団体を中心に送付するようにしました。

昨年度は市民活動発展の可能性を探るために、市内の市民活動団体と自治会・町会、商店会、大学・学校などを対象に調査を行い、報告書をまとめました。この報告書の実例報告会・交流会を 9 月に行い、来場者に喜ばれました。

あすぴあ 利用状況 報告

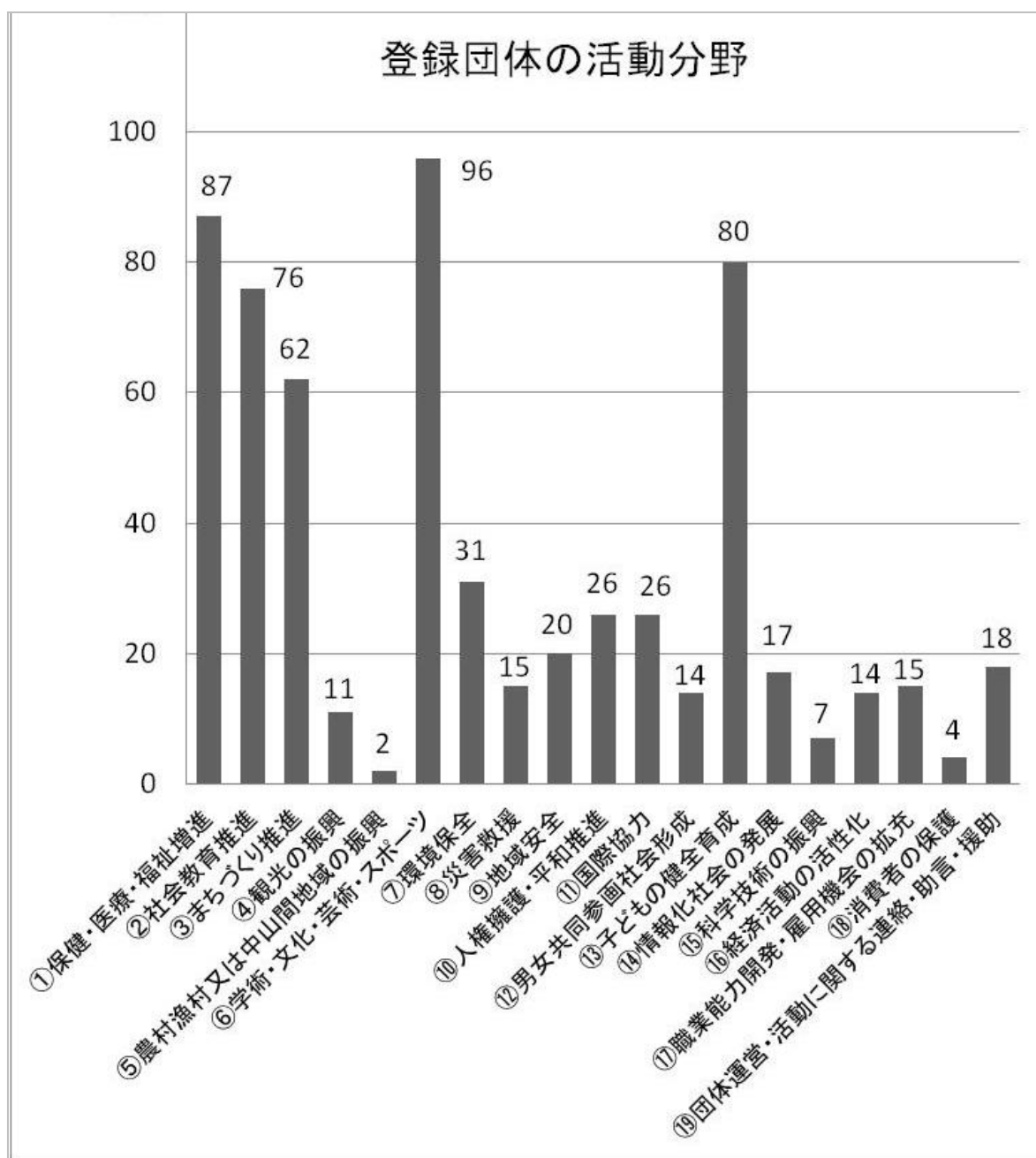


あすぴあ登録団体一覧表			
登録番号	登録年	法人格／法人名	団体名
1	H22		視覚障害者パソコン教室
3	H22		小平市けやきの会
4	H22		パソコン徒然草の会
5	H22	特定非営利活動法人	小平シニアネットクラブ
7	H22		はじめてのパソコンサークル
11	H22		小平図書館友の会
12	H22	特定非営利活動法人	小平ハートピア
13	H22		地域生活支援センターあさやけ
14	H22		こだいら参画の会
18	H22		小平こども劇場
19	H22		こだいら市民提言の会
21	H22	特定非営利活動法人	匠リニューアル技術支援協会
22	H22	特定非営利活動法人	PIANT A TREE PLANT LOVE
23	H22		政治・知りたい、確かめ隊
26	H22		右脳いきいきクラブ
27	H22	特定非営利活動法人	ふれあいアカデミー
29	H22		インドな人口問題を考える会
31	H22		小平ターゲット・バードゴルフ協会
32	H22		うたごえin元気村

登録番号	登録年	法人格／法人名	団体名
33	H22		ボーイスカウト小平第2団
34	H22		小平市女性のつどい
35	H22		たまの音楽家
36	H22		いきいき93
37	H22		精神保健福祉ボランティアの会「ひだまり」
38	H22		少年少女キャンプ村 小平・西東京
39	H22		こだいらDV防止ネットワーク
40	H22		萩山・小川団地九条の会
44	H22	特定非営利活動法人	ACTたすけあいワーカーズ小平らいふえいど
45	H22		小平IT推進市民グループ
46	H22	特定非営利活動法人	アトリエ・パンセ
47	H22		ボーイスカウト小平第1団
48	H22		ガールスカウト東京都第176団
50	H22		小平少年少女青空学校
52	H22		小平市障害者団体連絡会
53	H22	社会福祉法人／つむぎ	社会福祉法人つむぎ おだまき
54	H22		合唱団「みらい」
55	H22		小平市自治基本条例市民の集い
56	H23		パソコン復習塾
57	H23		自転車ススイ
60	H23		K. K. メンネルコール
62	H23	特定非営利活動法人	こども未来研究所
63	H23		小平市グラウンドゴルフ協会
65	H23		ダンスパフォーマンス集団 迫-HAKU-
66	H23		小平おもちゃの病院
70	H23	公益社団法人	小平市シルバー人材センター
72	H23	特定非営利活動法人	こだいら自由遊びの会
73	H23		むさしの会
74	H23	特定非営利活動法人	ラスキア
75	H23		市民プラザこだいら
77	H23	特定非営利活動法人	ぶるーべリー愛犬ふぁみりー協会
80	H23		朗読小平教室(ひびき)
81	H24	特定非営利活動法人	MYstyle@こだいら
82	H24	特定非営利活動法人	だれもがともに小平ネットワーク
84	H24		きらめきナイト
85	H24		楽遊会
86	H24		たまり場フォーティワン
87	H24	特定非営利活動法人	小平市民活動ネットワーク
88	H24		子ども∞幸せ円卓会議inこだいら
89	H24		小平ユネスコ協会
90	H24		小平断酒会
91	H24		熟年いきいき会
92	H24		音の会
93	H24		こだいら平和コンサート・合唱団どれみ
94	H24		グリーン研究会
95	H24		小平要約筆記サークル「ほおずき」
96	H24	特定非営利活動法人	障がい者職業支援 飛行機雲
98	H24		原発にさよならを／小平の会
99	H24	特定非営利活動法人	こだいらソーラー
101	H24		小平都市計画道路に住民の意志を反映させる会
103	H25		ママさんバンドサウダージ
104	H25		こだいら市民活動まちづくりネットワーク2012
106	H25		小平Nゲージレイアウトサークル
107	H25		アロマサロン
108	H25		平和のための戦争展・小平

登録番号	登録年	法人格／法人名	団体名
109	H25	特定非営利活動法人	子育てサポートきらら
110	H25		学び舎江戸東京ユネスコクラブ
111	H25		やすらぎコンサート Sana(さ～な)
112	H25		安心安全ウォークネット壱
114	H25		親業でグッドコミュニケーション ラ:ピース
115	H25		ブアナ・ティアレ
116	H25		終活を考える会 小平
117	H25		点字の会「てんとう虫」
118	H26		小平市子ども文庫連絡協議会
119	H26		LPG
120	H26		日本太極柔力球小平支部
121	H26		さよなら原発 萩山・小川の会
122	H26	特定非営利活動法人	こども未来ラボ
123	H26		小平市身体障害者協会
124	H26		きらきらカフェ
125	H26		ブルーベリーパラダイス
126	H26		みんながみちるプロジェクト
127	H26		小平はぐくみプロジェクト
129	H26		小平市脳卒中患者友の会
131	H26	特定非営利活動法人	ライフデザインむすび
132	H26		災害ボランティア未来
133	H26		苔玉会
134	H26		親子リトミックサークル ピッコロ
135	H26		こだいら国際協力プロジェクトSeed
136	H26		3. 11に学ぶ小平の減災を考える会
137	H27		小平井戸の会
138	H27		小平 市民後見を考える会
139	H27		玉川上水ストーリーテラズ
142	H27		世界の歴史を学ぶ会
143	H27		憲法カフェ
144	H27		中央大学小平白門会
145	H27		コーダー道場こだいら
147	H27		ごはん＆小麦の幸せ時間
148	H27		ここふらっと
151	H28		小平市民まちづくり互助会
152	H28		はなこ哲学カフェいどばたのいどほり
153	H28		小平市テニス協会
154	H28		スペースまる
155	H29		すいよう会
156	H29		小川体操
157	H29		Koi (こい) の会
158	H29		JSP
159	H29	特定非営利活動法人	終活支援センター 桐中会 小平事務所
160	H29		シルバー大学第30期OB会
161	H29		ザ・小平Jazz座
162	H29		アイデア発明クラブ
163	H30		小平シャイニング
164	H30		小平日本語ボランティアの会・小川西町
平成29年度末 あすぴあ登録団体数 117			

あすぴあ登録時には、団体の活動分野に関する書類の提出を求めています。ひとつの団体で複数の活動をする場合は、複数の分野にしるしをつけます。グラフを見ると、どの分野にも数字があって市民活動の多様性がわかり、興味深いものがあります。平成 29 年度は⑥学術・文化・芸術・スポーツの分野の伸びが大きく、⑦環境保全に関わる団体が減ったのが特徴です。また、①保健・医療・福祉増進に関わる団体がふえています。このように、子育て中の世代と高齢者世代が多い小平市の特徴を表わしています。





年月	開館日数	会議室								交流スペース			合計
		午前		午後		夜間		合計		昼間	夜間	合計	
		人数	利用コマ	人数	利用コマ	人数	利用コマ	人数	利用コマ	人数	人数	人数	人数
2017/04	25	131	14	283	19	56	4	470	37	355	34	389	859
2017/05	22	122	14	176	14	30	2	328	30	290	50	340	668
2017/06	26	137	15	223	19	43	3	403	37	422	39	461	864
2017/07	25	126	17	224	17	49	3	399	37	364	43	407	806
2017/08	26	75	11	145	14	44	5	264	30	347	62	409	673
2017/09	24	96	11	290	20	23	3	409	34	360	50	410	819
2017/10	26	137	15	230	17	22	2	389	34	349	24	373	762
2017/11	23	115	15	212	17	48	5	375	37	370	55	425	800
2017/12	24	209	11	326	15	55	5	590	31	505	114	619	1,209
2018/01	23	75	11	166	15	16	2	257	28	316	28	344	601
2018/02	23	95	11	226	17	37	2	358	30	349	52	401	759
2018/03	24	133	17	231	20	53	3	417	40	409	61	470	887
合計	291	1,451	162	2,732	204	476	39	4,659	405	4,436	612	5,048	9,707

1年間の利用者数は9,707人。そのうち自由に使える交流スペース利用者数は5,048人。昨年度より350人ほど多い利用がありました。フェスタ開催が12月に延期となったため、今年度は12月の利用者数が最大になりました。

小平元気村おがわ東の複数の施設やセンターへ来た人たちが、あすぴあにまで足を延ばして休んでいく姿がよく見られました。また、元気村で働く人たちが休憩したり、新聞や市報を取りに来たり、昼休憩にお弁当を食べて帰ったりしました。小さなお子さん連れの人たちの利用も定期的にあ

りました。元気村の屋外広場、多目的ホールや近くにある萩山グラウンドを利用した団体も活動後の打ち合わせや休憩に使ったりしました。

「静かで落ち着くから」「ドリンクコーナーがあるから」という利用者の声が表すように、あすぴあは毎日、市民のみなさんに利用されてきました。

あすぴあ主催の講座・サロンは主に元気村の第二会議室を利用して実施されます。実際の利用者数は上の表に現れた数字よりも大きくなります。



会議室は、午前、午後、夜間と分けて利用申込みを受け付け、それぞれを1コマと呼びます。1日に3コマあることになります。

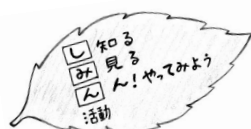
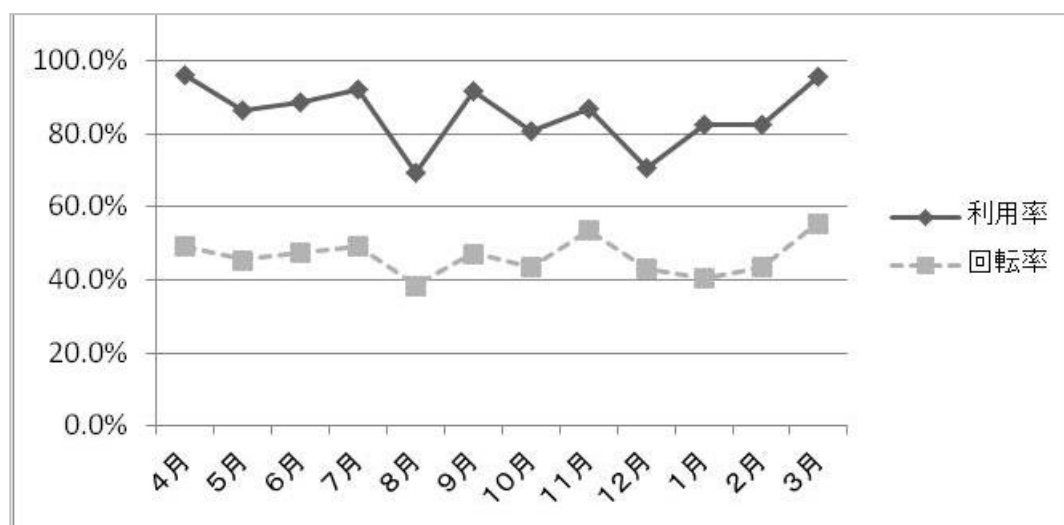
右の表は月別の利用率と回転率を表わしています。

利用率とは利用日数を開館日数で割ったものです。例えば、4月は25日間開館して利用日数は24日です。

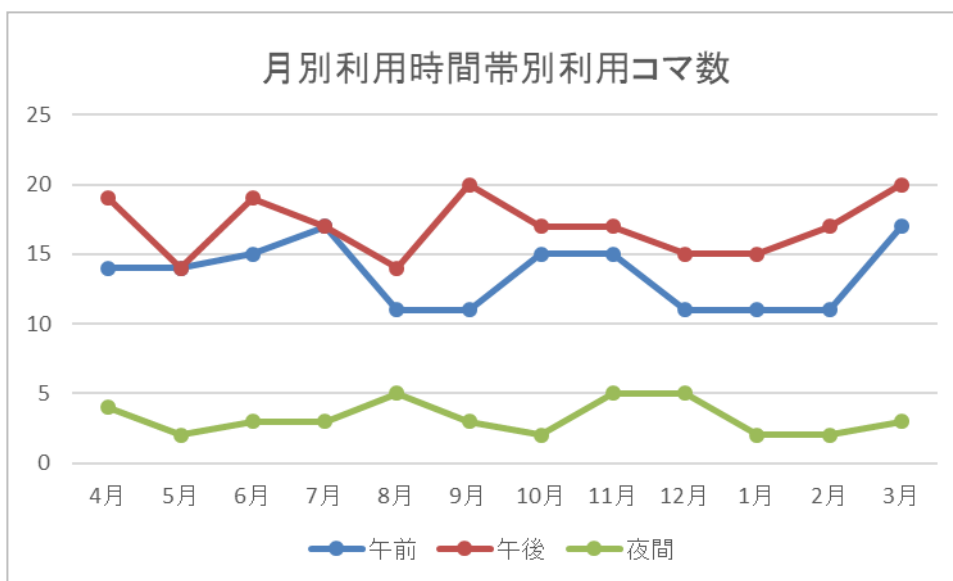
$24 \div 25 = 0.96$ となるので、利用率は96.0%となります。

回転率とは、利用コマ数を利用できる全コマ数（開館コマ数）で割ったものです。例えば、4月は37コマの利用があり、全コマ数は75。 $37 \div 75 = 0.493$ となるので、回転率は49.3%となります。

年月	会議室利用率・回転率					
	利用 日数	開館 日数	利用率	利用 コマ	開館 コマ数	回転率
2017/04	24	25	96.0%	37	75	49.3%
2017/05	19	22	86.4%	30	66	45.5%
2017/06	23	26	88.5%	37	78	47.4%
2017/07	23	25	92.0%	37	75	49.3%
2017/08	18	26	69.2%	30	78	38.5%
2017/09	22	24	91.7%	34	72	47.2%
2017/10	21	26	80.8%	34	78	43.6%
2017/11	20	23	87.0%	37	69	53.6%
2017/12	17	24	70.8%	31	72	43.1%
2018/01	19	23	82.6%	28	69	40.6%
2018/02	19	23	82.6%	30	69	43.5%
2018/03	23	24	95.8%	40	72	55.6%
合計	248	291	85.2%	405	873	46.4%



回転率・利用率は、例年そうですが、8月・12月に低くなり、気候のよい春や秋に高くなります。今年度は4月、7月、9月、11月、3月に利用率と回転率が高くなりました。



平成 29 年度の月別に午前・午後・夜間の会議室利用コマ数のデータをグラフで示しました。一般的に午後の利用が多いように思われますが、グラフでわかるように 9 月を除いてそれほど大きな差はありません。夜間の利用は少ないです。

あすぴあの会議室は 1 つしかありませんが、抽選が終了した翌月の 1 日からは、空いているコマを選んで利用申込みができます。

結構空いている日があります。みなさまのご利用をお待ちしております。

◆簡易印刷機とラミネーター

登録団体は 2 色簡易印刷機の利用ができます。家庭用プリンターのような鮮明な印刷やカラーはできませんが、デザインやカラー用紙やインクの色 of 工夫次第で、多様な印刷物ができます。インクは黒・赤・青・緑の 4 色。各色のドラムを交換することで、黒と赤、黒と青、黒と緑の 2 色印刷の他に、単色印刷も可能です。

紙は、団体が持ち込みで用意します。版下 1 枚 50 円。印刷は、100 枚まで 20 円です。今年度は簡易印刷機の調子が悪く、利用団体に不便をかけることができました。

ラミネーターの貸出しもしています。ラミネートシート込みの値段は、A 4 15 円、A 3 30 円。機械の加熱を防ぐため、長時間の使用はできません。利用団体からは、文房具店に頼むより安価だと好評です。イベントポスターや回覧用に便利だということで、ラミネーターの利用は年々伸びています。



ラミネーター



2色簡易印刷機



◆図書・掲示板・団体紹介展示スペース

あすびあでは、市民活動関連の書籍を中心に幅広く集めています。新着図書は表紙が見えるように配置しました。交流スペースに本の希望を聞くための箱を設けています。市民活動の定期発行物も含め、市内の図書館にはない本をそろえるように、運営会議で話し合って購入を決めています。

廊下の掲示板は4か所あります。ひとつを「みんなのけいじばん」と名付けて、市民活動団体のみなさん自身がチラシを貼り出す場所としています。助成金情報や公的なチラシを貼る掲示板もあります。その他の項目でも書きましたが、交流スペースの掲示板には、近隣市のコーナーとしてイベントチラシを貼り出しています。近隣市のめやすは、電車に乗って1時間くらいの範囲にある駅ということになります。センターとしても情報収集のため他市センターの講座に参加することがありました。

定期的に送られてくる地域情報紙、タウン誌、東京ボランティア・市民活動センターの冊子などを丸テーブルに並べています。大阪ボランティア協会の市民活動情報誌『ウォロ』もあります。来訪者に好評で、毎月届く地域情報紙を楽しみにしている人もいます。



文房具の貸し出しもしています。

交流スペースには、登録団体の中から希望する団体の展示物を掲示して、活動内容のPRに使う団体紹介展示のコーナーがあります。期間は約1か月。イベントの告知のために使う団体もありました。

センターに送られてくる多くのチラシの中から、その月のものを選んで掲示することもしました。



過去のイベントチラシ
廊下の展示物

みんなのけいじばん



近隣市
マーク



近隣市の
イベント
コーナー



市民活動 パワーアップ 講座



① 心に届くチラシと広報講座 連続2回講座

開催日時：9月16日（土）、30日（土）

開催場所：小平元気村おがわ東第二会議室

参加人数：30人、23人

講師：坂田静香さん

（NPO法人男女共同参画おた理事長）

広報講座はどの団体・個人からも要望の高い講座です。長年、チラシ講座の講師として日本各地を廻って力強い提案をしてきた坂田静香さんをお願いして、連続2回の講座開催ができました。満員の会場では、他市からの参加者も交えてグループごとに話し合いが行われ、2回目には、実際に本講座を受けて修正したチラシを使ったところ、集客数がふえてイベントが満員だった、という団体の発表もありました。



② 個人情報保護法

開催日時：10月14日（土）

開催場所：小平市中央公民館

参加人数：16人

講師：金山卓晴さん（弁護士、NPOのための弁護士ネットワーク所属）

改正された個人情報保護法について学習しました。小さな団体だからといって個人情報について責任がないわけではありません。・・・



③ 会議はもちろん！暮らしにも役立つ ファシリテーション講座(連続2回)

開催日時：11月18日(土)、12月3日(日)
 開催場所：小平元気村おがわ東第一会議室
 参加人数：30人
 講師：三田地真実さん(星槎大学大学院教授)

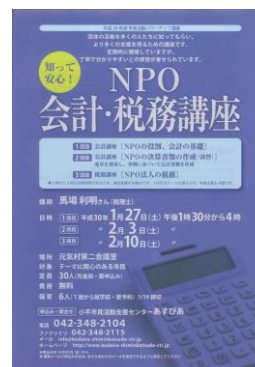
市民活動で流行のファシリテーションがわかる講座を開きました。両日とも午前・午後の講座でしたが、熱心な参加者が集まりました。



④ 知って安心！ NPO会計・税務講座(連続3回講座)

開催日時：1月27日(土)、2月3日(土)、
 2月10日(土)
 開催場所：小平元気村おがわ東第二会議室
 参加人数：15人、17人、15人
 講師：馬場利明さん(税理士)

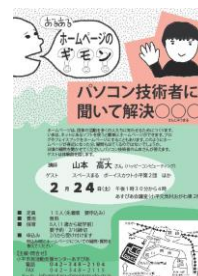
連続講座ではありますが、各回の申込みも受付をしました。多摩地域で評判の馬場利明さんに講師をお願いしました。毎年、他市の参加者からも「いつ会計講座がありますか？」と問合せが来る講座です。今年度はNPOについての講義もありました。



⑤ あるあるホームページのギモン パソコン技術者に聞いて解決

開催日時：2018年2月24日(土)
 開催場所：あすびあ会議室
 参加人数：12人
 講師：山本高大さん
 (ハッピーコンピューティング)

ホームページはつくっただけで終わりというものではありません。日々更新することでみなさんに見てもらえるページになっていきます。更新作業でギモンに思っても、どこへ誰に聞けば安心できる答えがもらえるのかと担当者は不安に思っていることでしょう。そのギモンと不安に対応できる講座を企画しました。ゲストの実例紹介もありました。



あすぴあ 市民活動 交流サロン



① 市民活動団体データ集「むすぶ」はこう使う

開催日時：4月22日（土）

開催場所：あすぴあ会議室

参加人数：6人

毎年年度末に発行している市民活動団体データ集「むすぶ」ですが、使われ方はその団体・個人によって違います。使い方を発表し合いながら、「むすぶ」の改良点も探りました。



② 小平で若者の就労支援について考える

開催日時：5月27日（土）

開催場所：小平元気村おがわ東第二会議室

参加人数：15人

ゲスト：古賀和香子さん、藝田薫さん
(認定NPO法人育て上げネット)

若者の就労は社会問題でもあり、市民活動の分野からの解決策を見つけないという希望もあって、市民活動交流サロンとして開催しました。ちょうどこの分野での市の調査結果ができたところだったので、資料として一部を紹介しました。立川市にある認定NPO法人からお二人に話していただきました。



③ 園芸療法で ココロもカラダも元気！

開催日時：7月2日（日）

開催場所：小平元気村おがわ東第二会議室

参加人数：16人

ゲスト：岡部 清さん

（NPO法人園芸セラピー協会）

馬場悦子さん

（NPO法人小平・環境の会）

人はミドリの中にいると、自身が生き返るように感じます。会場に初めて鉢植えを配して開かれました。そのせいか、いつものサロンよりも参加者の発言を多いようでした。



④ 調査冊子実例報告会と交流会 自治会、商店会、学校とつながろう

開催日時：9月4日（月）

開催場所：学園西町地域センター

参加人数：60人

前年度に調査を行い、まとめ冊子を発行しましたが、その実例報告と交流を兼ねて、幅広い人たちが参加して交流サロンとしてイベントを実施しました。会場が狭く感じられる位大勢の方が集まってグループごとに話し合いをしました。アンケートからも大変好評だったことがわかりました。今後このようなイベントをどのように開催していくか、センターとしても考えていくこととなりました。



⑤ 楽しんで役に立って元気に生きよう！

開催日時：2018年3月10日（土）

開催場所：小平元気村おがわ東第二会議室

ゲスト：市民活動をしている元気な小平市民

小平市地域包括支援センター中央センター職員

小平市高齢者支援課職員

ゲストのみなさんのお話と介護保険のしくみや見守りの話も聞くことができる、時代に則したサロンを開きました。



NPOフェスタ in元気村2017

開催日時：12月24日（日）
開催場所：小平元気村おがわ東
参加団体数：48団体
来場者数：850人

NPOフェスタは、実行委員会形式で運営され、毎年来場者数が増えています。今年度は前にも書きましたが、会場が選挙の投票所になったため、12月に延期となりました。すでに作成していたチラシ・ポスターをつくり直して準備を進めました。チラシ・ポスターの作成には小平市立小平第一中学校の美術部のみなさんの協力をお願いしました。

今年度も災害時に利用する発電機を電気ポットやホットプレートにつないで使ってみました。災害時に作動するかどうかの実験でもあります。また、前年同様に音響設備を借りて使いました。12月の寒さ対策としてあまり効果はありませんでしたが、指先を暖めるための石油ストーブを借りました。また、「おもてなしの椅子」を廊下に用意しました。



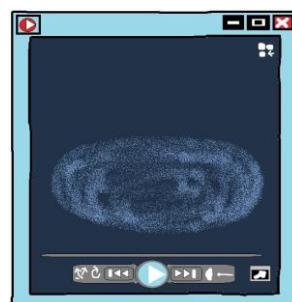
武蔵野美術大学の「黒板ジャック」



おもてなしの椅子



萩山西交差点の角に
大看板を立てました。



今年も動画をつくりました。音楽もつけて上映時間は約1分間。他に3分間動画もつくりました。ホームページへのアップについては動画作成ソフトのサポート期間が過ぎてるため、今のところ実行できていません。

あすぴあ通信

市民活動団体データ集『むすぶ』

あすぴあ通信は今年度から年 6 回の定期発行になりました。バックナンバーをご希望の方には送付しています。多摩地域の市民活動支援センターや東京ボランティア・市民活動センター、23 区役所の担当課にも送っています。

広報部会が、主にあすぴあ登録団体を取材して記事を書いて載せています。今年は社会の動きにも対応した紙面づくりをした年でした。例えば、こども食堂や 18 歳選挙権の特集記事を載せました。特に、こども食堂を特集した号は残部が 10 数部となりました。

市民活動団体データ集『むすぶ』は、窓口でも公共施設でも持ち帰る人が年々増えています。継続して作成してきたことが、市民活動団体データ集と市民活動支援センターあすぴあの存在を市民のみなさんに知らせることになり、ひいては市民活動の活性化につながることにと思います。掲載団体は毎年、市報こだいら 11 月 5 日号で募集しています。

今年度の『むすぶ』は、サロンでの意見やこれまでに作成してきた過程で出た意見を集め、改良した点があります。例えば、団体名を読みやすくした点、活動内容をほぼ同じ字数にした点、発行元のあすぴあのページを冒頭に近いところへ移動させた点などです。どうぞご覧ください。

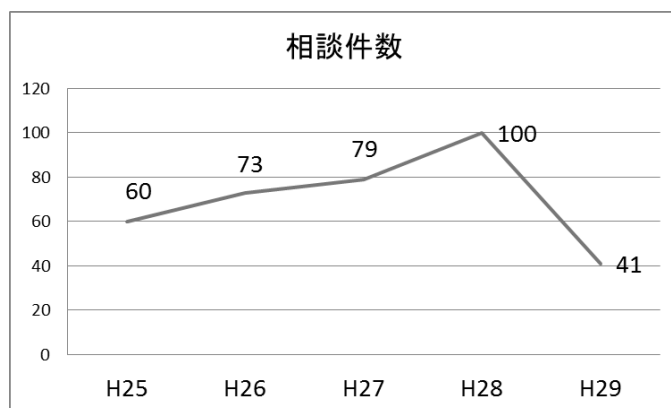
H28 年度末に作成した『小平の市民活動団体と地域諸団体との連携・協力実態調査報告書』は、今年度中に希望する団体・個人へ配布しました。他市からの希望もあり、送付しました。



なんでも 相談室



市民活動相談は、電話、窓口での相談から相談日を予約する「なんでも相談室」まで様々な形があります。毎月平均 5、6 件の相談がありました。相談の内容は、例えば、NPO法人格をとりたい、団体を立ち上げたばかりで相談したいことがある、活動をひろげたい、というような内容でした。昨年度同様に扱いを慎重にしなければならない内容の相談や市の各担当課からの問合せ、他市からの市民活動に関する問合せも多かった年でした。



利用者 懇談会



懇談会前にアイリッシュハーブ演奏を依頼

開催日時：3月17日（土）
開催場所：あすびあ会議室
参加人数：13人

- ・利用者アンケート集計の報告
- ・団体の活動紹介、質問、懇談

年に1回、登録団体だけではなく、あすびあを利用したことのある団体・個人が集まって懇談する会を開いています。事前に1か月間アンケートを実施して、利用する人たちの声を集め当日の話題にしています。

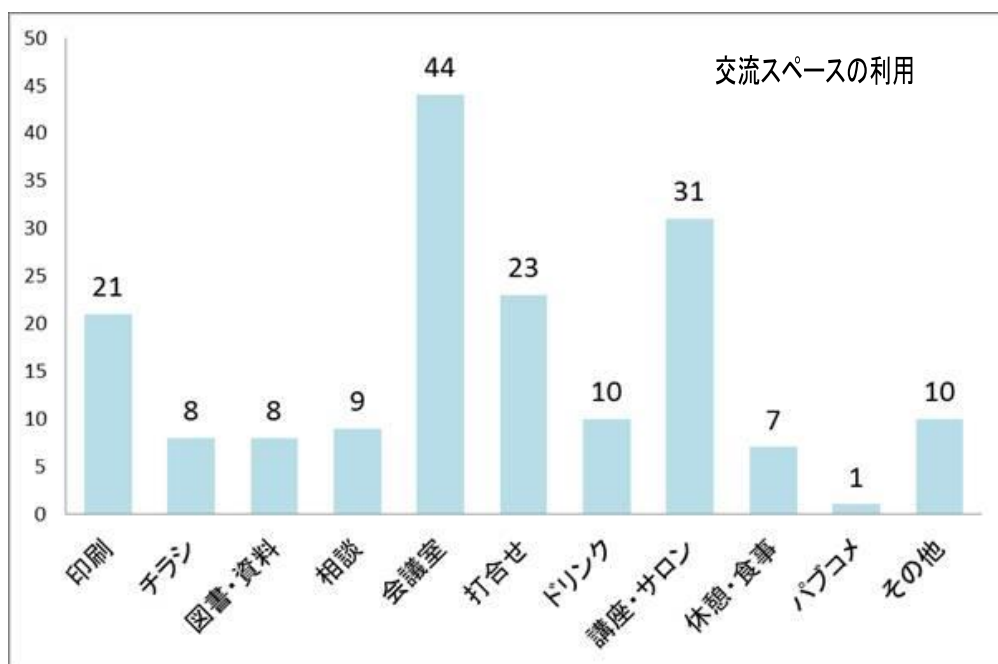
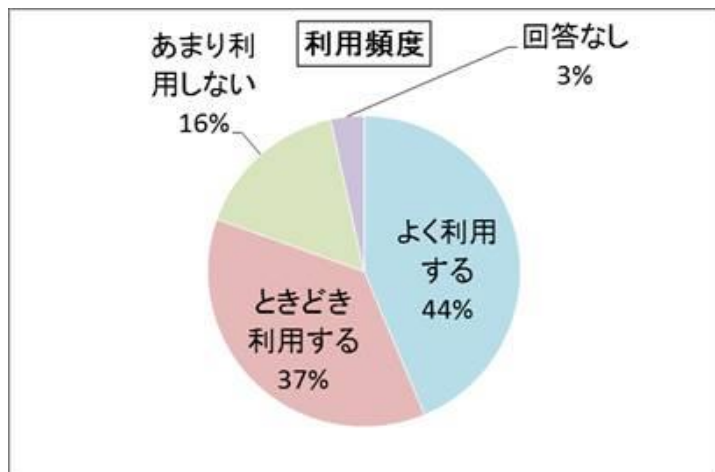
当日出た意見については、利用者懇談会報告書を作成して、次年度のあすびあの管理・運営に反映することにしました。今年度は「あったらいいこういう支援のカタチ」というテーマで話し合いをしました。例えば、Web活用の意見が出ました。

《利用者アンケートの集計から》

2018.2月～3月

回収総数

n=87



待望のLED蛍光灯
がついた会議室



東京都から届いた
女性のための防災の本



イベント部会 広報部会 フェスタ部会

市民
参加

あすびあの事業の大部分は市民参加で行なわれています。春に市報こだいらで募集しますが、年度の途中からでも部会に参加することができます。

■イベント部会

市民活動パワーアップ講座と市民活動交流サロンを年に4回以上企画・運営しています。毎月、あすびあ交流スペースで部会を開きました。人気の広報や流行のファシリテーションに関するパワーアップ講座を2回連続で実施しました。交流サロンのテーマは多岐にわたり、これまで扱ってこなかった、園芸療法から介護まで行いました。

■広報部会

毎月、交流スペースで部会を開き、あすびあ通信（年6回発行）の企画・取材・編集をしました。また、あすびあホームページ、メールマガジン、フェイスブックがよりよいものになるように話し合いをしました。

■フェスタ部会

あすびあ最大のイベント、NPOフェスタが開催されます。部会では、ほぼ1年をかけて企画、運営をし、実行委員会形式で行なわれます。実行委員は市報で募集したり、参加団体に呼びかけて集まり、活発に意見を出し合いました。フェスタ部会は、フェスタの応援隊です。

運営会議

市民に
よる
会議

あすびあの運営に関して、各部会の部会長と指定管理者の理事たちが話し合う会議を月1回開きました。

運営会議で議題となった主なもの：

第1回 4月

あすびあリーフレットの色について

第2回 5月

あすびあ図書の選定について

第3回 6月

株式会社の登録について

第4回 7月

印刷室に扇風機を置くことについて

第5回 8月

講座講師の著書購入について

第6回 9月

特になし

第7回 10月

特になし

第8回 11月

人材バンク構想について

第9回 12月

特になし

第10回 1月

特になし

第11回 2月

図書選定について

第12回 3月

図書選定と寄贈図書について

運営サポート 会 議

公募市民、登録団体、学識経験者などで構成される会議です。オブザーバーで市民協働が出席します。あすぴあは市民活動を支援するところですが、そのあすぴあの動きを支援するのがこの会議です。毎回、忌憚のない意見が出る場です。

平成 29 年度は 7 月、11 月、3 月の 3 回開催されました。



あすぴあの 1 年間の A 3 裏オモテでわかるような事業報告概要版を作成し配付しました。(数字は 2 月までのものです。4 月に入ってから改めて 3 月末の数字を入れた事業報告概要版を作成しました。)

7 月は今年度の事業計画についての報告をしました。11 月はあすぴあ利用の様子がわかるように中間報告をしました。3 月は上記の事業報告概要版を見ながら平成 29 年度の振り返りをし、これからのあすぴあについてサポート委員の意見をいただきました。

ホームページ メールマガジン フェイスブック

ホームページの更新は、職員が毎日行っています。日付の変更や会議室利用の更新などです。

近隣市のセンターのホームページもリニューアルしたところがふえました。それらの見せ方を参考にしながら、広報部会での話し合いや運営会議での意見を取り入れ、職員間でも話し合っ、より良いホームページにしていきたいと思っています。

メールマガジンを希望する方へ毎月配信しています。主にあすぴあ主催の講座・サロンの予告や助成金情報、近隣市のイベント、新着図書も載せています。

前年度 2 月から始めたフェイスブックページ更新を続行しました。センター主催のイベント企画をより早くよりの確に載せる作業を職員がしています。



対外的なこと その他

■東京ボランティア・市民活動センター

年に数回、飯田橋にある東京ボランティア・市民活動センターで開かれる会議に指定管理者の理事長と一緒に出席しました。

■学園西町地区地域連絡会

昨年に引き続き、NPOに関わる施設として出席しました。地域に関わる、小・中学校の校長、PTA会長、民生・児童委員、商店会、地域包括支援センター、社会福祉協議会、国際交流協会が話し合いをしました。学園西町の地域では2か所の居場所ができたり、防災部会の立ち上げがあったりしました。防災部会を中心にファシリテーターを呼んで意見出しを行いました。この際、センターでも勧めている「会議のお供、エンタくん」が使われ、参加者はいつになく多く発言をしていたように見受けられました。

■忘れない 3・11展 2017

平成28年度も中央公民館で行なわれた「忘れない 3・11展」に展示で参加し、交流会にも出席しました。あすびあに届いた東日本地域の巨大ポスターや東日本大震災関連の催物のチラシを展示しました。今年度はNTTと東京ガスの展示は、わたしたちの生活と密接に関係がある会社だったので知りたい情報でした。



また、震災関係の書籍が集められ自由に閲覧できるようになっていて効果的でした。

■元気村の防災訓練に参加

毎年秋に、小平元気村おがわ東内にある施設が参加する防災訓練に指定管理者の理事と一緒に出ました。天候不順のため、避難場所を多目的ホールに変更して避難したり、人員点呼、消火器の火元当て実習、消火栓のホースの使い方を練習したりしました。

■7市・市民活動情報連絡会

八王子市、三鷹市、日野市、西東京市、府中市、調布市と小平市の7市にある市民活動支援センターが市民活動の情報交換をする会です。昨年までは6市でしたが、調布市が入って7市となりました。年に3回ほど開かれ、開催地は持ち回りで開いています。初めて調布市が担当となった回には、「自分たちが関わる市民活動支援センターで自慢したいこと」をテーマに情報交換をしました。調布市のセンターが入る駅前ビルには1階にスーパーが入っていたり、市役所の出張所や男女共同参画センターが担当部署とともに入っていて大変参考になりました。

■登録団体同士のつながり



今年度も「点字の会 てんとう虫」と「視覚障害者パソコン教室」とは点字本の提供・本を借りることにつながりがありました。本の場所もわかりやすく工夫されていました。

■他市の担当者とのつながり

◇秋に実施した広報講座と冬に実施した会計・税務講座には多摩の他市や都内からの参加者もありました。

◇交流スペースには登録団体向けの物品保管スペースがあります。他市の担当者から詳しくサイズなどを尋ねる電話がありました。その市でもなんらかの保管スペースをつくる方向で情報を集めているように思われました。

■学生とのつながり

◇市内の大学に通う大学生がNPOフェスタに参加し、前日準備や当日の片づけを行いました。学生たちの参加はフェスタ参加団体に喜ばれました。◇小平市スカウト協議会の協力で、毎年ボーイスカウトの子どもたちが会場のNPOフェスタの飾りつけや景品交換所係などを手伝いました。

■あすびあ・公民館・こだいらボラセン・市民協働による地域福祉活動及び市民活動の中間支援に関する情報交換会（略称AKVS）

ほぼ月1回のペースで会合を開き、意見交換や情報交換を行いました。

地域のつながりづくり講座の第3回目を実施し、参加者は地域で活動する団体や施設での体験をしました。

■職員研修1（内部研修）

職員からの希望を取り入れ、日常業務の中で疑問に思っていたことを集めてする話し合いを今年も行ないました。事業所として課せられている消防訓練もしました。

■職員研修2（外部研修）

職員がそれぞれ興味を持つ領域で外部の施設の講座に参加する研修を行いました。あすびあ講座に出席することを研修としました。

■あすびあ勉強会

昨年度に引き続き毎月1回、職員・指定管理者NPO法人の理事・3部会の部会長・部会員が参加する「あすびあ勉強会」を行いました。

■その他

・H29年度版市民活動団体データ集「むすぶ」を読みながら、使い方を披露したり、改善点を話し合う市民活動交流サロンを4月に開催しました。参加者は少数でしたが、ここで出た意見を基に年度末発行のH30年度版「むすぶ」に改良を加えることができました。

・あすびあフェイスブックを見た人の数が爆発的に多くなったときがありました。それは、全国的に人気の講師、坂田静香さんの広報講座のときでした。また、ホームページの講座のときも数がふえました。この2つのことから、シェアボタンを押すこととトモダチがたくさんいる方とシェアすることの大切さを知りました。

・本社が23区内にあるネット情報紙がNPOフェスタのことを知り、掲載の誘いを受けました。

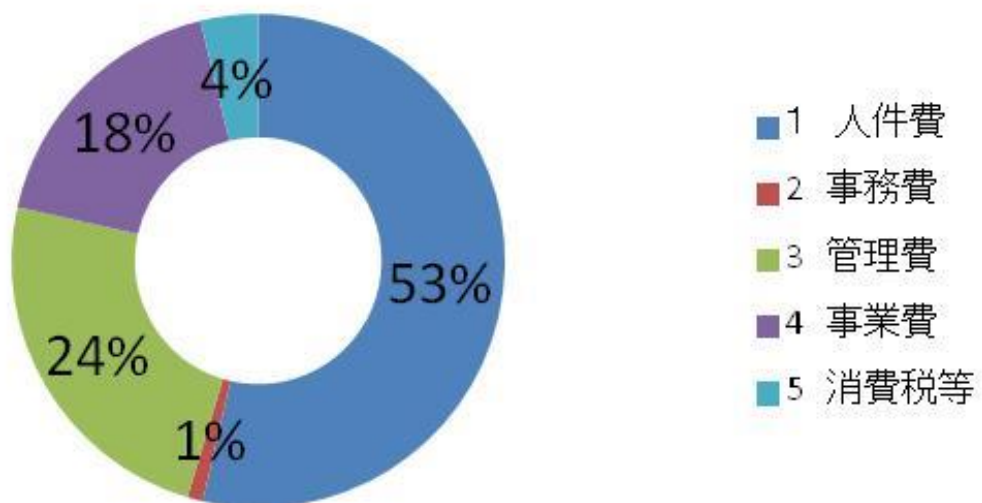
・5大紙である朝日新聞の多摩マリオンから同じくNPOフェスタ掲載の誘いを受けました。当センターから掲載の希望を出すことはあっても、先方からの希望はこれまでなかったので喜びました。

・青少年センターが元気村にあった頃に通っていた小学生たちが、日曜日に交流スペースを利用することがありました。友達と連れ立った来て、交流スペースや掲示版の飾りつけを手伝って助かりました。子どもたちはあっという間に成長し、市民活動支援センターがあったことを覚えていて、間もなく市民活動に加わるかもしれません。そういう可能性を感じました。



	2017年度実績	備考
収入合計	14,662,579	
指定管理料	14,522,808	
事業収入	17,700	市民活動交流サロン参加費
雑収入	122,071	印刷機・コピー機・プリンター使用料
経費合計	14,414,112	
1 人件費	7,729,111	常駐スタッフ昼間2名、夜間1名
2 事務費	146,679	文房具、用紙、カラープリンターインク、帳票類 伝票類、受講料、交通費、印紙税、送金手数料
3 管理費	3,437,193	通信運搬費、消耗品費、消耗什器備品費、交通費、印刷製本費 コピー機・パソコン等貸借料、保険料、修繕費、 支払い手数料、雑費、一般管理費
4 事業費	2,558,229	情報収集・発信事業費、セミナー開催・講師派遣等事業費、 普及啓発事業費、調査研究事業費 《市民活動パワーアップ講座、市民活動交流サロン、 NPOフェスタ、閲覧用図書、あすぴあ通信、むすぶ》
5 消費税等	542,900	

H29年度経費内訳



市民 活動	団体	し	る	φ
団体	資料	み	る	φ
し	み	ん	かつ	どう
る	る	かつ	どう	☀
φ	φ	どう	☀	☆